

2021年9月理事会議事録

日 時：2021年9月25日（土）14：00～17：25

場 所：オンライン会議

出席：辻 秀人・佐古和枝・佐藤宏之・足立佳代・植田 真・臼杵 勲・大塚昌彦・岡林孝作・亀田直美・河村好光・小菅将夫・惟村忠志・滝沢 誠・田尻義了・谷口 榮・中嶋郁夫・萩野谷 悟・馬淵和雄・溝口孝司・宮里 修・高麗 正、監事：都築恵美子・橋本裕行、（事務局：林 純子）

欠 席：寺崎秀一郎・時枝 務・中山誠二

オブザーバー：唐澤至朗・大工原 豊（議案第651・652号）

進 行：滝沢 誠

議 長：辻 秀人

滝沢理事から、本日の出席者は23名（うち理事21名）で過半数に達しており、本理事会が成立することが報告され、議事に入った。

会員の訃報について

中嶋理事から、埼玉県の中嶋一郎会員が7月2日、青森県の福田友之会員が7月27日、千葉県の中嶋一男会員が8月6日、青森県の北林八洲晴会員が2021年9月13日、福島県の穴澤味光会員が9月21日に亡くなられたとの報告があり、哀悼の意を表した。

議案第650号 退会会員の承認について

中嶋理事から、長野県の*会員、京都府の*会員・*会員、鹿児島県の*会員から2021年度をもつての退会届が提出されている旨の報告があり、承認された。

議案第651号 一般社団法人日本考古学協会規則の一部改正について

大塚理事から、短期的課題として理事選挙制度検討小委員会に検討が求められていた、定款と規則の理事定数の不一致の修正や、理事選挙における非立候補者の投票有効性等について、会長・両副会長、理事選挙制度検討小委員会の唐澤至朗委員長・大工原 豊副委員長及び大塚理事で、9月5日（日）に「日本考古学協会規則」の「理事選挙」に関する条文改正の意見交換を行ったとの説明があった。

続けて、オブザーバーとして出席いただいた唐澤委員長から、その意見交換を基に、定款と規則の齟齬については、上位法である定款に従って、改正案を作成したとの説明があった。主な改正点としては、①現行の被選挙権のない正会員を除くすべての正会員に投票できることは違法であることから、立候補者及び推薦を受諾した者（以下、「立候補者等」という。）のみに行えることとする。②これまで副委員長の選任について記載がなかったため明記する。③弁護士からの指摘により、現行の有権者名簿の配布は個人情報保護の観点から今後は配布しないこととする。④立候補者等が23名以下の場合は、例外を除き、投票を行わないこととする。⑤理事の定数の記載を、現行では「24名」となっているところ、定款第22条では「21名以上24名以内」となっていることから、『定款』の定めるところ

とする」とする。なお、立候補者等が21名に満たない場合や8つの地区において票を獲得した候補者がいなかった場合は、補充の選挙を実施するが、補充の選挙が実施できない場合は、会長が21名に達するまでの候補者名簿を作成して、理事会を経て総会に付議することとする。⑥定款第23条で、理事は「総会の決議によって選任する。」となっているので、選挙管理委員会は開票事務を担当して得票順位表を作成し、総会で選任される。

審議の結果、一部誤字修正の上、原案通り承認された。

議案第652号 危機管理マニュアルの一部改正について

理事選挙制度検討小委員会の唐澤委員長から、前回の理事選挙の際のコロナ禍による緊急事態の対応に鑑み、現行の「危機管理マニュアル」に、理事選挙期間中に感染症の流行や諸災害が発生した場合を想定した対応策を増補したとの説明があり、原案通り承認された。

議案第653号 高輪築堤に関する（会長）声明の再発出について

馬淵理事から、港区高輪築堤跡について一部は国指定史跡となり現地保存となったが、築堤はさらに南北に伸びていることから、JR東日本の開発計画が公表されていない5・6街区について全面保存を求め、遺跡を活用したまちづくりを提案する会長声明を出したいとの提案があり、案文が提示された。審議の結果、原案通り、声明「ただちに築堤の破壊をやめ、コロナ後のまちづくりを考えよう」を本日付で発出することが承認された。

なお、発出にあたっては、関係機関に送付するとともに、各政党関係にも参考送付することとした。また、足立理事から、これまでの高輪築堤跡に関する会長声明や会長コメント発出と同様に、報道機関へのプレスリリース及びホームページに掲載することが説明された。

報告第839号 2021年度金沢大会の役割分担及び全体進行について

河村理事から、2021年度金沢大会について、実行委員会では対面開催の実施も検討してきたが、新型コロナウイルス感染症が開催1ヶ月前においても収束していないことから対面開催は断念し、オンライン方式に一本化することとしたとの説明があった。続けて、「大会実施要項」に基づき、日程と各理事の出欠状況・役割分担及び全体進行について確認された。例年行っている分科会の閉会挨拶については、各分科会の終了時間が遅く、現地参加の理事も限られていることを考慮し、省略することとした。なお、金沢大学における現地参加の理事には、コロナ対策として大会当日までの検温が求められ、了承された。

報告第840号 名簿データの収集状況の中間報告及び以後の対応方針について

高麗常務理事から、現在までに約1,150名の正会員から回答があり、うち5名が氏名を含めすべて非掲載希望であることが報告された。続けて辻会長から、回答数が芳しくないことから、9月末締切ではあるが年内は回答可能なので、各理事に名簿回答に関する周知が要請された。

報告第841号 各委員会等における2021年度会議等報告について（その4）

1 アーカイブス小委員会の報告

谷口理事から、7月15日（木）に小委員会を対面で開催し、①アーカイブデータの作成にあたっての協会刊行物の在庫の確認及び作成順番を協議した。②アーカイブ作成後の公開手順について検討を行った。③2DD及び2HDの媒体の内容確認を行ったとの報告があり、了承された。

2 機関誌『日本考古学』編集委員会の報告

大塚理事から、『日本考古学』第53号は、金沢大会に合わせて刊行できる予定であるとの編集状況の報告があり、了承された。

3 埋蔵文化財保護対策委員会幹事会の報告

足立理事から、7月17日（土）及び9月5日（土）に幹事会をオンラインで開催し、①港区高輪築堤跡について、4街区の発掘調査が進展していることから現地見学を予定している。また、5・6街区にも築堤が伸びている可能性があることから、再度の会長声明発出を検討し文案を作成した。②横浜市稲荷前古墳群隣接地について、推移を注視するとともに、市教育委員会の支援を続けていく。③広島市広島城跡（サッカースタジアム建設予定地）の被爆遺構については、要望書の回答を受け取ったが、改めて要望書を提出予定である。芸備地方史研究会が中心となってシンポジウム開催が検討されている。④出雲市旧海軍大社基地の開発について、出雲市からは要望書の回答があった。⑤安芸市瓜尻遺跡について、重要遺構を避けた計画に変更される見通しだが、コロナ禍によりシンポジウムや現地視察が実施できない状況にある。⑥高速道路建設に伴う調査で発見された遺跡の保護や基地内の遺跡についての課題の指摘があったとの報告があり、了承された。

4 広報委員会の報告

谷口理事から、7月30日（金）に委員会をオンラインで開催し、①『会報』203号について刊行予定を確認した。②「考古学スクエア・春」の応募状況について事務局から説明があり、昨年度より登録数が少ないことから、引き続き参加の働きかけをしていくとの報告があり、了承された。

5 研究環境検討委員会の報告

亀田理事から、8月28日（土）に委員会をオンラインで開催し、①第87回総会セッション及びポスターセッションにおけるアンケートの回答が集約され、意見交換を行った。就職に関する情報やコラムのホームページでの掲載企画等を検討中である。②2021年度金沢大会におけるポスターセッションのポスター内容について確認したとの報告があり、了承された。

6 陵墓の報告

岡林理事から、①5月30日（日）に陵墓16学協会の運営委員会をオンラインで開催し、コロナ禍中での今年度の活動について協議した。②8月9日（月）にオンラインで陵墓16学協会の全体会議を行い、今年度の運営委員会の役割分担について協議した。③9月初旬

に開催予定だった陵墓懇談については、緊急事態宣言の延長により改めて日程調整中であるとの報告があり、了承された。

7 社会科・歴史教科書等検討委員会の報告

小菅理事から、9月12日（日）に委員会をオンラインで開催し、①2021年度金沢大会におけるポスターセッションのポスター内容について協議し、小森委員による旧石器時代の資料を利用した小学6年生授業の実践報告を基に作成を進める。②2021年度に改定された8社分の中学校教科書について、旧石器時代・縄文時代の扱いを検討したとの報告があり、了承された。

報告第842号 2021年度前半期の正・副会長の報告

佐古副会長及び佐藤副会長、辻会長から、定款第24条第3項の定めにより、それぞれ今年度前半期の各種行事・会議の出席等、職務執行状況について報告があった。

その他

1 高輪築堤跡の周知活動について

谷口理事から、高輪築堤跡の保存問題について、広く周知を図ることを目的としたシンポジウムやフォーラムの開催提案が有り、埋文委等の関係委員会で検討を進めることとし、今後の課題とする。

2 協会規定の整備と新名簿冊子後半に規定集を付すことについて

高麗常務理事から、新しく作成予定の会員名簿に掲載する規定集に向けて、基礎資料となる現行の規則・規程・内規・基準等の一覧表が提示された。

以 上